

株式会社 **京都銀行**

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652

**国際協力機構が発行する  
「ソーシャルボンド」への投資について**



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、独立行政法人 国際協力機構が発行するソーシャルボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に資金使途を限定して発行する債券です。

今回投資した債券は、日本総合研究所から、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

本債券発行による調達資金は、国際協力機構が行う有償資金協力事業のうち、経済協力開発機構 開発援助委員会（OECD - DAC）が定める国際的なジェンダー事業分類基準に合致する事業に充当されます。この事業は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するものです。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄	第61回 国際協力機構債券
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2021年9月27日
充当事業	有償資金協力事業のうち、国際的なジェンダー事業分類基準に合致する事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー平等や女性のエンパワメントを主目的とする事業 （例：女性事業主向けの融資事業、女子教育等）</li> <li>・ジェンダー平等や女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業 （例：都市鉄道建設事業における女性専用車両、防犯カメラ、女性用トイレの設置等）</li> </ul>

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

